

■ チャレンジする道庁づくり

職員の政策提案力や実行力を高め、直面する道政課題の解決に全力で取り組みます。

(政策展開の方向性)
 道民の皆様の理解と協力を得て政策を強力に推進し、政策提案力や実行力を高めていくため、広報機能を強化するとともに、道庁版スタートアップの推進や職員研修の充実、ナッジの活用、積極的な民間登用や若手職員の活躍支援など組織の活性化に取り組みます。また、スマート道庁の強化やデジタル人材を育成するとともに、庁舎の再エネ設備や次世代自動車の導入の推進などの取組を加速し、ファシリティマネジメントの強化による道有資産の有効活用やコストの削減などに取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
総合交通ネットワークの形成	○道管理空港における航空灯火LED化について、3空港の整備事業に着手【R4:1空港(実施設計)、R5:3空港(本工事、実施設計)】	0218
デジタル化の推進	○申請・入札等の電子化、押印等の見直しにより、各種手続きのオンライン化を促進【(電子申請) R3:22,128件→R4:22,116件、(電子入札) R3:12,522件→R4:12,214件、(オンライン化した手続) R4:241件】 ○情報システムの最適化や業務の見直しを行った上で、庁内業務でのICTツールの活用を進め、業務の効率化・高度化を推進【RPA導入 R3:19業務→R4:25業務】	0219
ゼロカーボン北海道の推進と環境に配慮する人づくり	○ライフスタイル・ビジネススタイルの転換につながる取組を広く呼びかけ、できることからゼロカーボンの取組を実践していく「ゼロカーボン北海道チャレンジ!」を実施 ○家庭からの排出量を見える化するスマートフォンアプリ「北海道ゼロチャレ!家計簿」を開発 ○北海道地球温暖化防止活動推進員による普及啓発活動により、道内各地域において地球温暖化対策の重要性への理解を促進【R4:33回、R3:30回、R2:21回、R1:30回】 ○気候変動適応に関する情報についてメルマガを道民、事業者等に配信【R4:11回配信、登録者数374件】 ○道内における気候変動の影響などを広く収集するため、道民・事業者などを対象とした適応に関するアンケート調査を実施・公表【R4:道民4,398名、事業者・団体527社】	0523
その他	◇本道の魅力発信のため、首都圏など道外への積極的な広報と、地域における発信力の強化に取り組む[広報機能強化事業] ◇多様・複雑化する政策課題への迅速な対応と職員の政策開発能力の向上を図るため、政策検討チームを設置して政策開発を実施[政策開発推進事業(若手職員チャレンジ事業)] ◇Smart道庁の取組の狙いや工程表を「Smart道庁のすすめ方」としてとりまとめ(R2.3決定、R5.3更新)、道庁における業務改革、職員の働き方改革、内部統制及びこれらに関連するICTの利活用を推進 ◇職場での一層の省エネの率先実行などにより、特に全排出量の約54%を占める電気に対する対策を重点的に進めるほか、改築される庁舎のZEB化を進めるとともに、公用車の次世代自動車化などを推進 ◇道が保有する全てのファシリティ(土地、建物等)について「施設経営」の視点に立ち、道有建築物等の長寿命化による既存ストックの有効活用をはじめ、設備投資・施設運営費の最小化、過剰・遊休等の排除を図ることでファシリティの整備・維持運営に係る財政負担を軽減[北海道ファシリティマネジメント推進方針]	-

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○~」)、道ホームページ(「◇~」)より引用・作成